

令和4年度

学力向上推進員研修会資料

【小学校部会】

徳島県学カステップアップテストを活用した
学習指導について(国語)



1

徳島県学カステップアップテスト(令和4年4月実施)結果・分析

平均正答率(%)

	全体正答率	無解答率
4年	62.0	7.6
5年	54.7	6.6

「領域別」における平均正答率(%)

	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能
4年	57.8	25.2	46.8	77.7
5年	56.4	36.9	46.5	63.6

2

徳島県学カステップアップテスト結果・分析

国語4年生

正答率(設問別)

知識及び技能

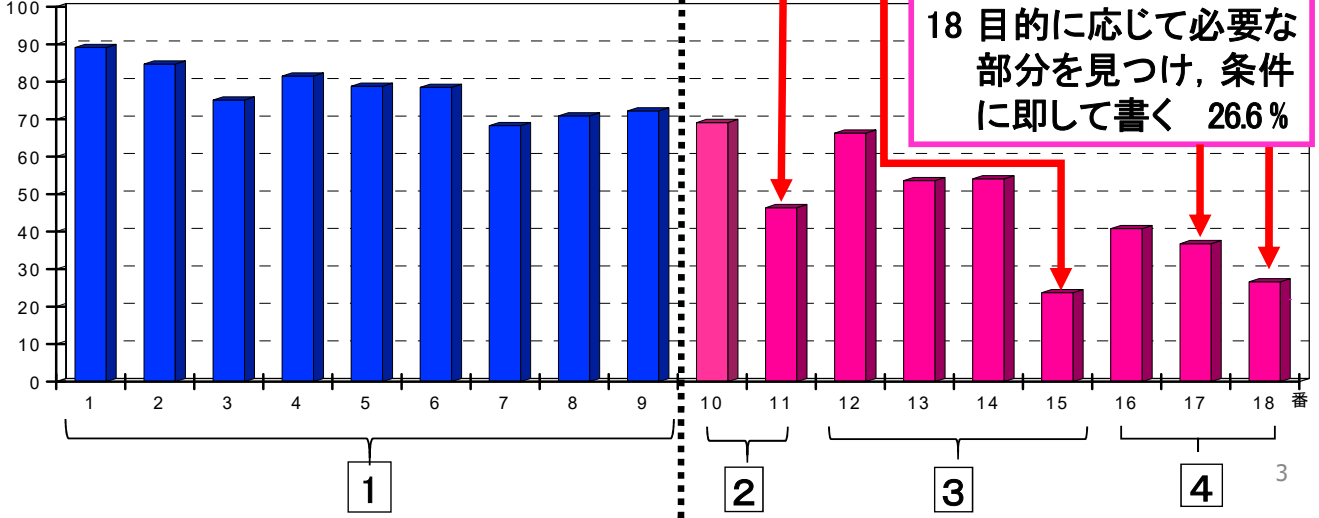
思考力, 判断力, 表現力等

11 司会者の役割 46.4%

15 気に入った言葉とその理由 23.7%

17 大事な言葉を書き抜く 36.8%
18 目的に応じて必要な部分を見つけ, 条件に即して書く 26.6%

表 番号文字列



徳島県学カステップアップテスト結果・分析

国語5年生

正答率(設問別)

知識及び技能

思考力, 判断力, 表現力等

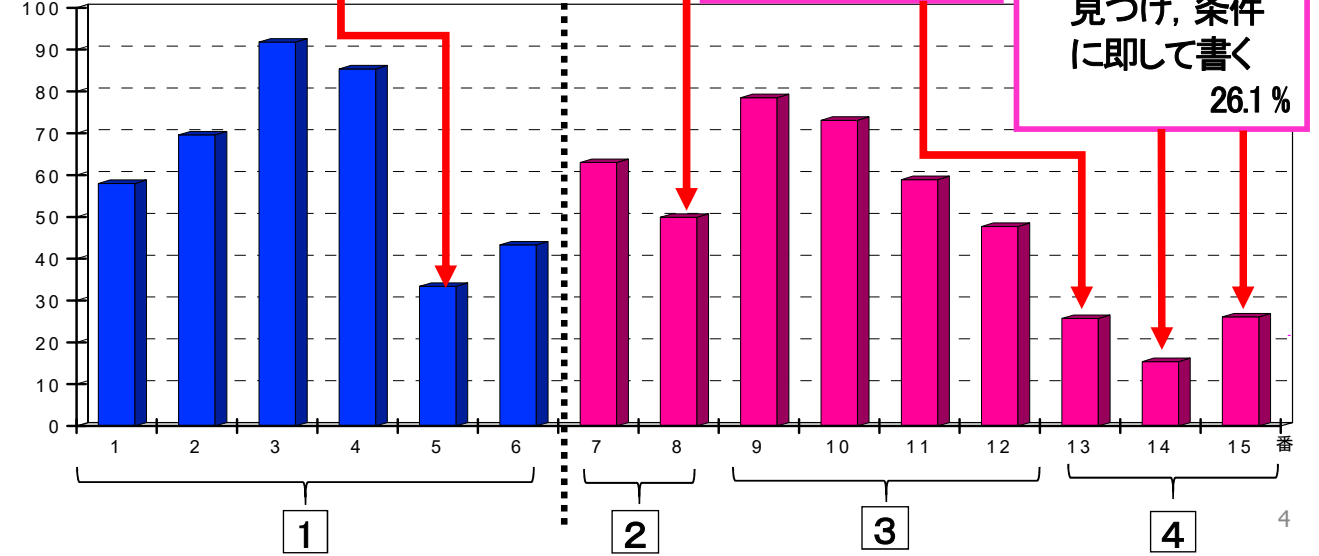
5 接続詞の活用 33.4%

8 話合いの目的に応じた適切な進行 49.9%

13 文章の構成 25.7%

14 必要な資料を見つける 15.4%
15 目的に応じて, 必要な部分を見つけ, 条件に即して書く 26.1%

表 番号文字列



学力向上への取組の成果

小学校国語

(4)…4年生、(5)…5年生

「知識及び技能」

- ①配当学年学習の漢字について、**読み書き(熟語)**すること(4)(5)
- ②**漢字の筆順**について理解すること(4)(5)
- ③**修飾語**について**理解**すること(4)
- ④**指示語の指している内容**を把握する(4)
- ⑤接続詞や文の要旨を基に、**段落構成の関係**を捉える。(4)

「思考力, 判断力, 表現力等」

- ⑥**登場人物の気持ちの変化**について、叙述を基に**想像**して読むこと(4)
- ⑦登場人物の相互関係に基づいた**行動を表す叙述から、気持ちを想像**する(5)
- ⑧**関係図のまとめ方を捉えながら、文章中の大事な言葉を書き抜く**(5)

5

定着状況が不十分な課題

小学校国語 「知識及び技能」

- ①配当学年学習漢字を書く (5・回る)
- ②**接続詞**を正しく**活用**する(5)
- ③文の中における**主語と述語の関係**などに注意して、文を正しく書く(5)

6

定着状況が不十分な課題

小学校国語「思考力、判断力、表現力等」

※ (選)択型、(短)文型、
(記)述型

- ①話合いにおける**司会者の役割**を理解すること(選)
- ②気に入った言葉とその理由を、叙述を基に登場人物や場面の様子を想像しながら書く(記)
- ③**文章中の大事な言葉**を見つけ、書き抜く(短)
- ④目的に応じて、資料の中から必要な部分を見つけ、**条件に即して書くこと**(記)
- ⑤心に強く残った**叙述とその理由**を、**登場人物の気持ち**を想像しながら書くこと(記)
- ⑥**文章の構成**を捉え、その効果を理解する(選)
- ⑦目的に応じて**必要な情報**を文章から見つける (短)

7

授業改善

○語彙を意図的に増やす。
学習や話題にする際に、意図的に、
形の似た漢字・同音異義語・同訓異
字を話題にする。

漢字のもつ意味や文脈を考えさせる。

○ 回る

※同訓異字

走りまわる

(令和4年度ステップアップテスト5年 1 1)

令和4年度

58.0%

○ 周り
↑ ↓
回り

※同訓異字

まわりを見て、

(令和3年度ステップアップテスト5年 1 1)

令和3年度

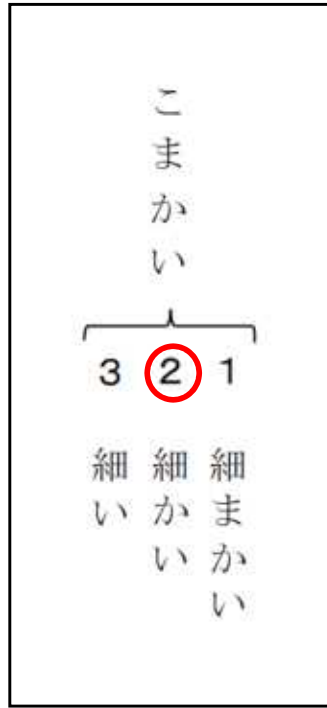
75.0%

配当学年学習漢字を書く

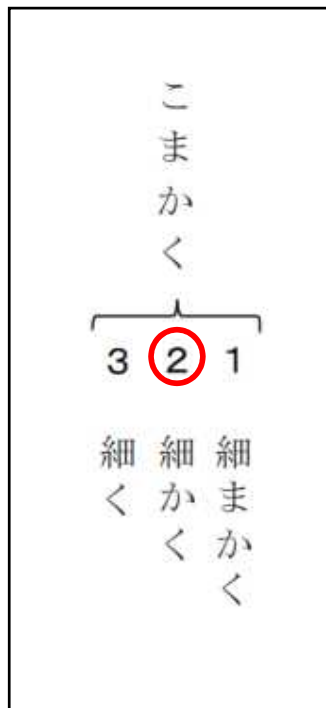
8

送り仮名を正しく付ける

(平成29年度ステップアップテスト4年 [1] 三)



(令和4年度ステップアップテスト4年 [1] 三)



平成29年度
84.4%

令和4年度
78.8%



授業改善

○語彙を意図的に増やす。
○学習や話題にする際に、意図的に、話題にする。

修飾語について理解する

(平成30年度ステップアップテスト4年 [2] 三)

「チーズが」をくわしくしている言葉

4 1 2 3 5
今では 世界中で おいしい チーズが 作られています。

(令和4年度ステップアップテスト4年 [1] 四)

「光っている」をくわしくしている言葉

4 1 2 3 5
たくさん の 小さな 星が きらきら 光っている。

平成30年度
62.7%

令和4年度
68.3%



授業改善

○修飾語を意識させる。
○他者の作文を音読する場を設ける。
○文章の推敲指導を取り入れる。(短い文章の協同批評)

接続詞を正しく活用する

(令和4年度ステップアップテスト5年 1 三)

- 1 しかし
- 2 それに
- 3 つまり
- 4 だから

授業改善

○話の流れを捉える。

令和4年度 33.4%

主語と述語の関係などに注意して文を書く

(令和4年度ステップアップテスト5年 1 四)

人間は生きるために、植物や動物の命をいただいで生きています。

人間は生きるために、

植物や動物の命をいただいでいます。

音声と関係付けながら規則性に気付かせる。

令和4年度 30.5%

授業改善

○文章の推敲指導を取り入れる。(短い文章の協同批評)

文章を読み返すときのポイントについて話し合う

「人間は生きるために、植物や動物の命をいただいで生きています。」は何かおかしいね。



最初に「生きるために」とあるのに、また「生きています」と書いているからだと思うわ。



一つの文の中に、同じ言葉があるということだね。「人間は生きるために、植物や動物の命をいただいでいます。」と直すと重ならないね。



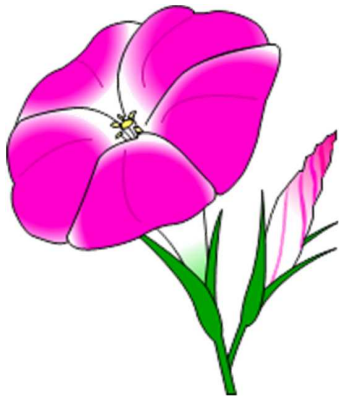
そうか、言葉の重なりに気を付けて、文を書くときよいということですね。



言語活動の土台づくり 1

語彙を増やす指導

授業中の会話の中で 日常的に



あさがおのつぼみって・・・

「えんぴつの先みたい」

「ソフトクリームみたい。」

「とじたかさのようだ。」

「とじたかさって？」

「ええと。ぐるぐるしている。」

先生と子供たちは動作で表現しようとする。

「ああ、わかった。ねじってるんだ。」

言語活動の土台づくり 2

語彙を増やす指導

言葉のニュアンスの違いを大切に

「ちいちゃんのかげおくり」3年生(光村図書)

お父さんが、つぶやきました。

「かげおくりのよくできそうな空だなあ。」

「えっ、かげおくり。」

と、お兄ちゃんがきき返しました。

ちいちゃんもたずねました。

(中略)

・・・、お父さんがせつめいしました。

話し合いにおける司会の役割の理解

…司会の仕方にあてはまるものはどれですか。…

(令和3年度ステップアップテスト5年) 2 三

- 1 話し合った議題をつたえて、ぐたいてきなほうほうをしめしている。
- 2 前の意見を受けて、みんなに意見をまとめている。
- 3 話してくれたことについて感想をつたえてから、まとめている。
- 4 話し合いで決まったことを、全員にたしかめている。

令和3年度

28. 0%

成果



令和4年度

46. 4%

- 1 これまでに出てきた意見をまとめている。
- 2 多くの意見が出るようにみんなに声をかけている。
- 3 前の発言を受けて、みんなに意見をまとめている。
- 4 話し合いで決めることや、話し合いの進め方をたしかめている。

話し合いにおける学習指導



○計画的かつ効果的な話し合い

司会

役割を理解し、出てきた発言を整理したり、捉えたり、まとめたりする。

話すとき

自分の立場や考えを明確にする。

聞くとき

意見の共通点や相違点を考える。

○話し合いの仕方を理解して実践

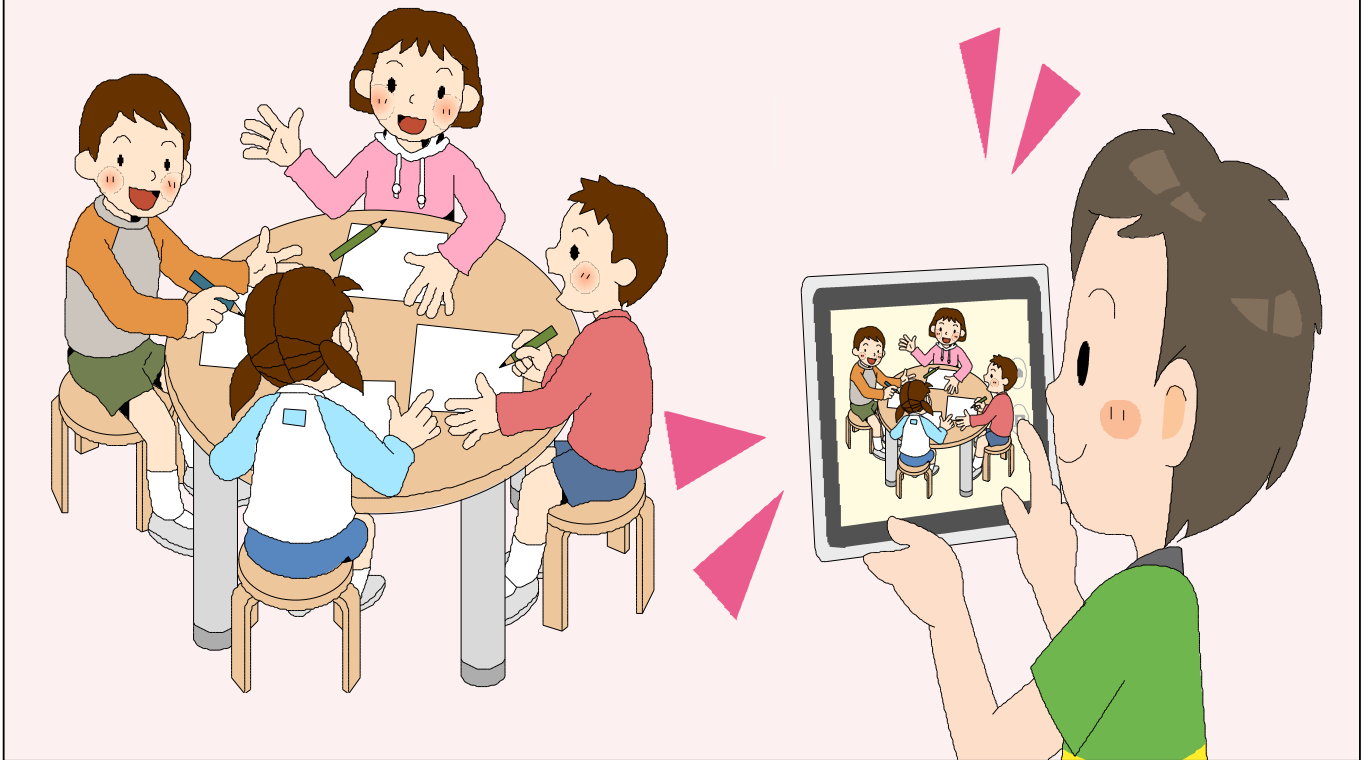
・話し合いの経験を積み重ねる。(小集団・学級)
・話し合いを撮影等したものを視聴する。

話し合いの進め方などの具体的なポイントを明確にする。

小集団や全体で、話し合いの経験を積み重ねる。

話し合いにおける学習指導

ICTを活用して話し合いを録音する



指導

○司会者のてびき

- ・これから、～について話し合います。時間は～分です。
- ・～さん、いかがですか。
- ・これまでの意見をまとめると、こうなります。
- ・話題をもとにもどしましょう。
- ・A、B二つの意見が出てきました。まずAについて意見を出しましょう。



○司会者の役割（グループの話し合い）

- ・話し合いのテーマや目的、時間等を示す。
- ・出てきた意見をまとめたり、整理したりする。
- ・話題がそれているときは、修正する。
- ・一部の意見ではなく、全体から意見を収集する。
- ・グループの意見を集約したり、まとまらない場合は、決をとったりする。

話型を使用させる時に、実践の中で場の状況に対応して話す力をつけていくこと。

話型の提示→定着→活用



② (より具体的に質問したり、 たずねられたことに答えたりする。)

それでは、みんなの発表が終わったので、これからそれぞれの考えに対して、質問をする時間に入ります。質問のある人は手を挙げてください。

はい。

はい、C Cさん。

はい、A Aさんに質問です。

ぼくも地域との関わりは大切だと思います。ただ、ぼくたちが地域の方と接する機会はありません。地域の方が参加できる学校行事があるので、これらの行事に積極的に参加してもらうように呼びかけて、わたしたちの学習や活動について知ってもらうことから始めるのいいと思います。

はい。

ありがとうございます。他に質問がある人はいいますか。

はい。

はい、D Dさん。

町の清々活動を行うのは、とてもいいと思います。具体的には、どの場所を、どんな形で行うかと思っています。

まず、通学路をきれいにしたいと思っています。よくごみが落ちているのは、通学途中の公園や川ぞいの土手などです。グループを作って、決められた場所をそうじすると思っています。

他に質問はありますか。

はい。

はい、A Aさん。

はい。D Dさんに質問があります。D Dさんの発表の中に、助け合える関係を作りたいという話がありました。D Dさんは、今の学校のどのようところに問題を感じていますか。そうですね。実は、この間、職員室の前で、中に入りたそうにしている一年生の子がいました。「どうしたの。」と声をかけたのですが、初めて話す子だったので、きん張してしまっただけ、うまく話せないようでした。その後すぐ、その子の担任の先生が来たので、大丈夫だったのですが、こういうときに力になれるようにするには、もっと仲良くなつて

★ たがいの考えについて、質問したり、それに答えたりする。

★ 相手の考えを受け止めてから質問する。

★ 具体的な考えを述べる。

★ 具体的な問題点を挙げる。

授業改善

○話し合い台本を作成する際、発言内容(上段)、発言のねらい(下段)を並記し、双方の意識付けを図る。

関係図のまとめ方を捉えながら、文章から大事な文や言葉を捉える

(令和4年度ステップアップテスト 5年 3(二))

気持ちが変化したきっかけとなるママの言葉が入ります。一つ選んで…。

1 ゼノビア、ビクターと何かあったの。

2 それじゃあ、なんで、あんなふう飛び出していったの。

3 おまえ、あの子に意地悪したんじゃないでしょうね。

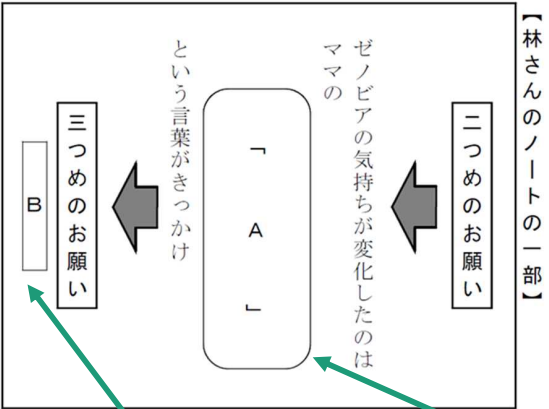
4 いい友達よ。この世でいちばん大切なものは友達だもの。そう、いい友達。

図と言葉と関連づける

(令和4年度ステップアップテスト 5年 3(三))

三つめのお願いが入ります。ふさわしい十二字の言葉を【物語の一部】の中から書きぬきましょう。

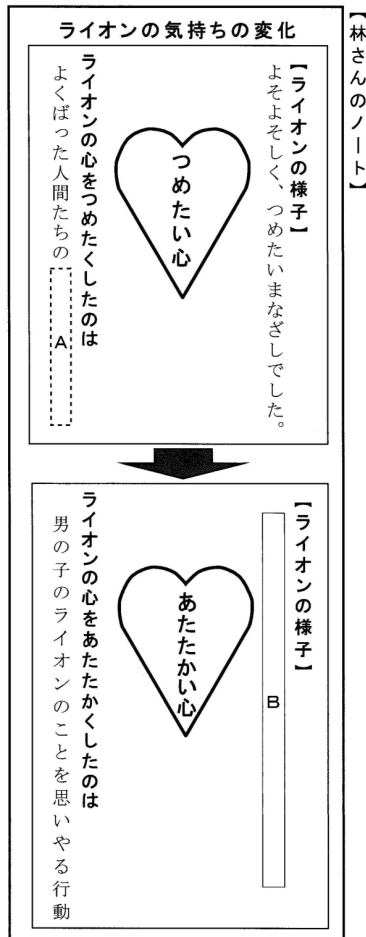
令和4年度 58. 9%



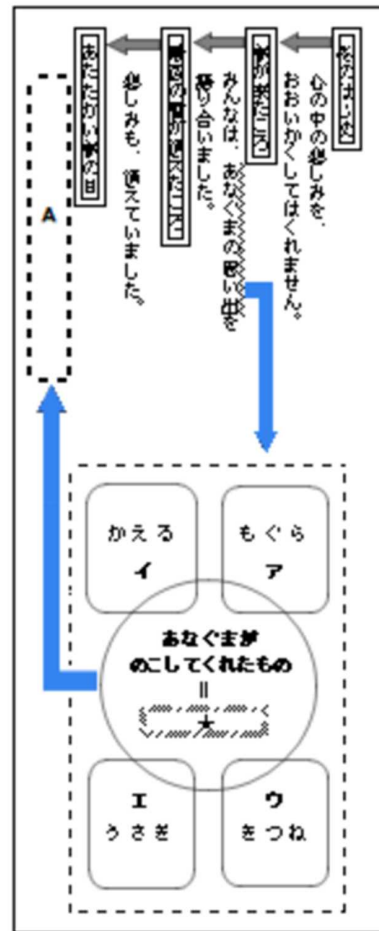
令和4年度 73. 1%

授業改善

○年間を通して、多様な言語活動の体験
 (多様な表現)
 ○板書やノート整理に「図示」を取り入
 れる。思考ツールも一例。



【林さんのノート】



様々な図示

授業改善

○視点を示し、複数見付ける。
 ○叙述をもとに根拠を明確に
 する。

令和4年度 53.6%

わたしは、女の子が立っていたところから、女の子は、花のせ
 だと思っています。

わたしは、女の子は立っていたところから、女の子は、花のせ
 だと思っています。

わたしは、女の子は立っていたところから、女の子は、花のせ
 だと思っています。

川野さん 小川さん 林さん

女の子の正体について…物語の言葉
 のどれをもとに話をしたことが、え
 らんで、書きましよう。

(令和4年度ステップアップテスト4年 3二)

読む

登場人物の行動を基に場面の様子を想像して

心に残った叙述とその理由を、登場人物の気持ち
を想像しながら書く

(令和4年度ステップアップテスト5年 3 四)

特に強く心に残ったところと、なぜそこが強く心に残ったのかを、ノートにまとめることにしました。次の【条件】に合わせて、書きましよう。選んだ理由をゼノビアの気持ちを考えて……

平成30年度 33.7%



令和4年度 47.7%

成果

授業改善

根拠となる文や文章 (叙述)

自分の意見・考え

「またね。また会おうね。」からです。

結び付いていない

物語のどこから、そう考えましたか。

「女の子はさくらの木だと思えます。さくらは、毎年春になったらさくので、またというのは、来年のことを言っているのだと思ったからです。」

授業改善のポイント

自分の意見・考え + 根拠となる文や文章 (叙述)

授業改善のポイント

根拠となる文章(叙述)と自分の意見を結び付けて(セットにして)表現できるようにする。

女の子はさくらの木だと思えます。さくらは、毎年春になったらさくので、またというのは、来年のことを言っているのだと思います。

「またね。また会おうね。」から、



根拠となる文や文章 (叙述)

自分の意見・考え

「さくら……あの子がさくしよに立っていたところだ。」とあるので女の子はさくらだと思えます。

結び付いていない

女の子が立っていたところさくらが立っていたからです。



自分の意見・考え + 根拠となる文や文章（叙述）

「さくらら……。あの子がさいしょに立っていたところだ。」とあり、



女の子が立っていたところにはさくららが立っていたから、女の子はさくららの木だと思っています。

授業改善のポイント

根拠となる文章（叙述）と自分の意見を結び付けて（セットにして）表現できるようにする。

《身に付けさせたい力》
叙述を基に、登場人物の性格や境遇、状況を把握し、場面や情景の移り変わりとともに変化する気持ち想像する力

《言語活動》
最も心に響く一文を「読書しようかいカード」に書いて、感動の中心や物語の魅力伝えよう。

1 いくつかの視点を示し、心に響く一文を複数見付ける。

〈例〉登場人物 表現 出来事(変化)
〈例〉会話・行動(赤で線) 様子(青で線)

*直接描かれていない情景から登場人物の心情を想像する。

2 その中から、最も心に響く一文を選ばせ、その根拠を明確にする。

比較する

関係付ける

意味を見出す

言葉の認識を深める
読み方や味わい方を広げる

授業改善

3 同じ文を選んだ友達、違う文を選んだ友達同士で交流し、表現の効果や特徴等を吟味する。

身に付けた国語の力を自覚する！

学習指導に当たって

○多様な資料から必要な情報を収集する場合

- ・読む目的を明確にする
- ・複数の情報の内容を比較する

効果的な読みの工夫が重要

目的に応じて効果的な読み方を選ぶ

○比べ読み（複数の教材を）

○速読

○多読（同じ課題で多くの本を重ねたり並行させたりして読む）

○詳細に読む（視点をもち場面を選んで）

条件に即して書く

- 目的に応じるように
- 示された観点より
- 選択した情報（観点）を用いて
- 示された言葉・表現を用いて
- 書き出し・書き結びを用いて
- 字数の範囲指定

○「考えの形成」にあたり、手引きとして示してみる。

- ・これらの観点から一つ選んで書いてみよう
- ・ここに挙げた言葉から選んで書いてみよう
- ・ここに挙げた書き出しを使ってみよう
- ・ここに挙げた書き結びを使ってみよう

※例文は常に準備しておくこと。

「私（指導者）ならこう書くよ。もし、似た考えだ、という人は、使ってもいいよ。」

※アウトプット（発信・表現）を求めるなら、手引きとなる情報（例）をインプットできるよう教材研究をしておくこと。

授業改善

①育成を目指す資質・能力を明確にし、実施状況を評価して改善を図りながら、一人一人の子供に最適な学びを重ねていく場の設定

- ◇**振り返り**やアンケート、学力調査等を活用し、子供の課題を捉えて授業改善に取り組む。
- ◇教科等横断的な学習の充実を図るとともに、**他教科等の取組の成果を国語科の取組に生かす**。

②「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を関連させ、言語活動を通して資質・能力を育成する単元の構想と展開

- ◇語彙の量と質の充実を図るために、読書活動の推進や実生活に関連した言語活動を取り入れるなどして、**語句を蓄積**することや蓄積した**語句を意図的に使わせる**ことに、**継続的**に取り組む。
- ◇目標と言語活動の設定の工夫、学習の手引きや多様なモデルの提示等、指導・支援を通し**他者と協働しながら**、子供が**主体的に学習を進める過程**を設定する。
- ◇子供の実態に即して、学習過程を弾力的にし、繰り返したり取り立てたりして指導する。
- ◇**言葉による見方・考え方を働かせる**ために、子供が比較・分類・関連付け等**様々な思考**に取り組むよう**発問や指示を工夫**する。

③身に付けた国語科の資質・能力や学習内容の自覚化を図る指導の充実

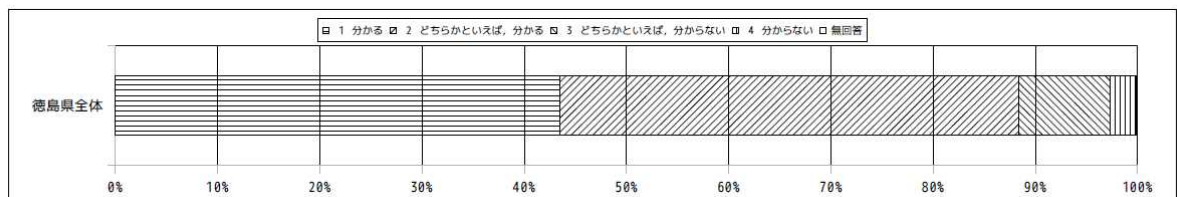
- ◇多様な学習の記録(ノート、成果物、映像等電子データ)が生まれるように工夫する。
- ◇**「書くこと」を通して振り返り**をさせるとともに、ICTの利用等により**共有して学びを深めさせる**。

31

令和4年度学カステップアップテスト時の児童質問紙の集計

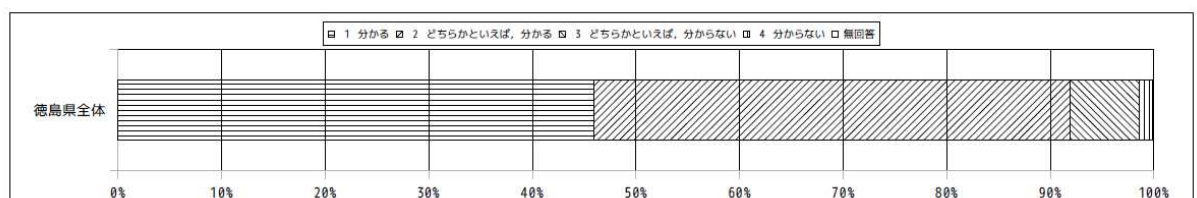
第四学年

質問番号	質問事項									
(10)	国語の授業の内容はよく分かりますか。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
徳島県全体	43.4	44.8	8.9	2.6						0.1



第五学年

質問番号	質問事項									
(10)	国語の授業の内容はよく分かりますか。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
徳島県全体	45.8	45.9	6.7	1.3						0.1



32

確かな学力の定着に向けて

33

1 子供たちが主体的に思考・判断し表現する言語活動を位置付けるとともに、その活動の中で、どのような国語の能力が身に付いたのかを子供自身に意識させる。

育てたい国語の能力にぴったり合った言語活動を位置付ける。評価規準や評価の方法を明確にする。

2 全国学力・学習状況調査やステップアップテストの問題を授業で活用する。

○活用問題を中心に、どのように考えて解けばよいのか解説する。

○日々の授業での話し合い活動や調べ活動、表現活動と関連させながら指導する。

3 「学習ガイド」等を活用し、初読の問題に慣れる。

『話し合い』活動の問題

「活用問題」

「チャレンジプリント」

教科書教材で学習した読む力が本当に身に付いているのか、別の教材で確かめる。